

# JPドメイン名レジストリのデータエスクローエージェント業務受託組織選定に関する提案 依頼概要

2013年9月17日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
株式会社日本レジストリサービス

## 1. はじめに

### 1.1 本書の目的

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(以下、JPNIC)及び株式会社日本レジストリサービス(以下、JPRS)は、共同で、JPドメイン名レジストリのデータエスクローエージェント業務を受託していただける組織を募集します。

詳細は2013年10月4日(金)に開催を予定している説明会で提案依頼書等を配布しご説明します。なお、説明会への参加にあたっては、当業務の性質を鑑み、貴組織による署名・捺印済みの「機密保持に関する覚書」(NDA : Non-Disclosure Agreement)2部の提出をお願いします。

本書は、説明会にて配布する提案依頼書の概要を示し、貴組織がJPドメイン名レジストリのデータエスクローエージェント業務の受託にあたって説明会への参加を判断する材料としてご参照いただくことを目的としています。

### 1.2 調達組織の概要

#### 1.2.1 JPNIC

JPNICは、コンピュータネットワークの円滑な利用のための研究及び方針策定などを通じて、ネットワークコミュニティの健全な発展を目指し、学術研究・教育及び科学技術の振興、並びに情報通信及び産業の発展に資することにより、わが国経済社会の発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

その活動概要は、次のものです。

- (1) コンピュータネットワークの利用に関する情報の収集及び提供
- (2) コンピュータネットワークの利用技術研究
- (3) コンピュータネットワークに関する調査研究
- (4) コンピュータネットワーク利用のための方針策定
- (5) コンピュータネットワークの資源管理
- (6) コンピュータネットワークの利用に関する教育・普及啓発
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

JPNICの詳細は、<<https://www.nic.ad.jp/>>をご参照ください。

### 1.2.2 JPRS

JPRSは、インターネットの安定と健全な発展を追求し、ネットワークの根幹を支える情報基盤サービスの提供企業として、国内外の組織と協調・協力を維持しつつ、JPドメイン名の登録管理やドメインネームシステム(DNS)の運用などを実施しています。

その主な活動は、次のものです。

#### (1) JPドメイン名の登録管理

日本に割り当てられた「JPドメイン名」の唯一の登録管理組織（レジストリ）として、国内約620社の指定事業者を介して、130万件以上に上るJPドメイン名の登録情報を一元管理しています。

#### (2) JP DNSの運用

世界中のインターネット利用者が、いつでも快適にJPドメイン名を利用したサイトやメールにアクセスできるよう、JPドメイン名をインターネット上で利用可能にするための仕組みであるJP DNSを、24時間365日体制で運用しています。

#### (3) インターネットを支える技術研究・開発

JPドメイン名の登録管理とJP DNSの運用を、より安定的で信頼性の高いものにするための、最新で高度な技術の開発・研究に取り組んでいます。また、IETFなど国際標準化団体における積極的な提案活動を通して、インターネット社会全体に貢献しています。

JPRSの詳細は、<<http://jprs.co.jp/>>をご参照ください。

### 1.3 募集事項

JPドメイン名レジストリのデータエスクローエージェント業務受託組織

### 1.4 応募資格

- (1) 機密保持に関する覚書2部を提出した上で、説明会に参加いただけること
- (2) 会話、契約文書等全て日本語で十分な意思の伝達をはかることができること
- (3) 本受託業務に関する活動拠点が日本国内にあること
- (4) 本受託業務に関するシステムを日本国内に設置するとともに、データを日本国内において保管できること
- (5) ドメイン名に関するデータエスクローエージェント業務の受託実績を有しているか、同等のサービス実績を有していること。またはICANNによる分野別ドメイン名(gTLD)におけるエスクローエージェントとしての認定を受けていること
- (6) 原則JPドメイン名の指定事業者ではないこと。JPドメイン名指定事業者である組織が応募する場合は、JPドメイン名登録管理業務とデータエスクローエージェント業務との間の情報流通を遮断する手段を提示すること

## 2. 業務内容

### 2.1 データエスクローとは

現在、JPドメイン名のレジストリ業務はJPRSが実施していますが、JPドメイン名の健全な継続運用のため、JPRSが何らかの理由によりレジストリ業務を行わなくなった場合を想定し、他の組織へのレジストリ業務の移行をスムーズに行えるように準備しておくことが必要です。JPドメイン名レジストリのデータエスクロー(以下、「データエスクロー」と呼ぶ)とは、この手段として、JPドメイン名レジストリの運用に使われているデータを預託用データ(以下、「エスクローデータ」と呼ぶ)として取り出し、第三者(以下、「エスクローエージェント」と呼ぶ)に預託することを言います。

データエスクローに関連する主な組織とその役割は、次のものです。

#### a. 監査者(JPNIC)

- a1. データエスクロー処理全体の監査
  - データエスクロー処理全体の適切さの確認
  - 日々のデータエスクロー処理の正当性のチェック
  
- a2. JPRSから新レジストリへの移行を行う場合の移行処理の統制
  
- b. レジストリ (JPRS)
  - b1. エスクローデータの送信
    - 日々のエスクローデータの作成・エスクローエージェントへの送信
  
  - c. エスクローエージェント
    - c1. 日々レジストリから送信されるエスクローデータの受取り、保管
    - c2. レジストリ移行時、新レジストリへのエスクローデータの引渡し

## 2.2 JPドメイン名登録管理におけるデータエスクロー業務の位置付け

2002年4月にJPドメイン名の登録管理業務がJPNICからJPRSへ移管されるに際し、JPRSとICANN(The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers:インターネットの資源管理を行う非営利団体)の間で「ccTLDスポンサ契約(. JP)」、またJPNICとJPRSの間で「JPドメイン名登録管理業務移管契約」が締結されました。これらの契約のなかで、JPドメイン名の登録管理においてデータエスクローを行うことが規定されています。

詳しくは、下記をご参照ください。

### ccTLDスポンサ契約(. JP)

<[http://jprs.co.jp/doc/redelegation/sponsorship2\\_e.html](http://jprs.co.jp/doc/redelegation/sponsorship2_e.html)>

<[http://jprs.co.jp/doc/redelegation/sponsorship2\\_j.html](http://jprs.co.jp/doc/redelegation/sponsorship2_j.html)> (参考訳)

### JPドメイン名登録管理業務移管契約

<[http://jprs.co.jp/doc/redelegation/transfer\\_j.html](http://jprs.co.jp/doc/redelegation/transfer_j.html)>

## 2.3 エスクローエージェントの業務内容

### (1) 日々の業務

毎日、インターネットを介してJPRSより暗号化されたエスクローデータを受取り、保管を行います。受取り及び受取り結果確認のためのプログラムはJPRSより貸与されます。保管は、第三者への漏洩・盗難がないよう安全性の高い方法・場所で行います。また、受取り、保管の処理結果を日々JPNICとJPRSへ報告します。

### (2) 新レジストリへのエスクローデータの移行

JPRSがJPドメイン名の登録管理業務を行わなくなる場合、登録管理業務の移行先組織及び移行の時期を、JPNICが決定します。その際に、JPNICが指示する時期及び方法で、保管しているエスクローデータをJPNICへ引き渡します。

## 3. 提案手続き

### 3.1 提案依頼書説明会

時間：2013年10月4日(金曜日)

13:30～15:00

場所：JPNIC会議室

<<https://www.nic.ad.jp/ja/profile/map.html>>

### 3.2 提案書提出

#### 3.2.1 提出期限

2013年10月18日(金曜日)必着

#### 3.2.2 提出物

提案書と見積書

#### 3.2.3 使用言語

提案書は日本語で記述

### 3.2.4 提出方法

#### 郵送または持参

(郵送の場合は機密性が保たれた手段を講じ、送付先はお間違えのないようお願いいたします。また双方で郵送物の受信を確認できる郵送手段(配達記録が残る郵便等)のご利用をおすすめします。郵送に関わる費用は応募者の負担となります。)

### 3.2.5 提出形態

#### 印刷物2部及び電子媒体1式

(電子媒体は、Microsoft Word形式、Microsoft PowerPoint形式もしくはAdobe PDF形式とし、Microsoft Windows XPまたはWindows 7で読み込み可能なCD-ROMかDVD-ROMとする)

### 3.2.6 提出先

〒101-0047

東京都千代田区内神田3-6-2 アーバンネット神田ビル4階  
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
インターネット推進部

### 3.3 選定

JPNICとJPRSが設定した評価基準に基づき選定します。その過程において、必要に応じ提案者からのプレゼンテーションを受け、また、ヒアリングを行います。その後、「JPドメイン名登録管理業務移管契約」第14条第7項にしたがい、政府の承認を得てエスクローエージェント業務受託組織を決定します。各応募者には採否結果のみ通知し、採否理由、採用組織名は通知しません。また、応募者情報も含め、その選定内容及び結果は公開しません。

### 3.4 予定スケジュール

10月18日(金) 提案書受付締切

10月24日(木)～12月6日(金) 選定作業

12月9日(月)まで 採否結果通知

12月27日(金)まで エスクローエージェントと契約書締結  
1月6日(月)以降 動作試験・運用準備  
4月1日(火) 運用開始

### 3.5 質疑応答窓口

質問は電子メールにてお願いします。

メール送付先 info@jpescrow.jp

## 4. 委託事項の概要

### 4.1 業務内容

#### 4.1.1 日々の業務

- (1) <準備> エスクローデータ受取り、保管のためのハードウェア・システムソフトウェア・ネットワークの企画、調達
- (2) <準備> エスクローデータの保管のための媒体・保管場所及び運用方法の企画、調達
  - 火災、盗難等に耐える保管庫の安全性
- (3) <日常> (1)(2)の運用、維持、保守
  - エスクローデータにアクセスできる者を限定
- (4) <日常> 日々のエスクローデータのJPRSからの受信と、受信内容の正当性のチェック、その結果のJPNIC、JPRSへの報告
  - これまでの運用では、1日30分程度（実績）
- (5) <日常> (4)において受信内容が正当でなかった場合に、JPRSと共同で解析し、再受信に関し調整
  - これまでの運用では、1ヶ月に1度2時間程度（実績）
- (6) <日常> 毎月1回、1ヶ月分の運用記録をJPNICに提出
- (7) <日常> JPNICが実施する(1)から(5)の業務監査への協力
  - 年1回、半日程度を想定

#### 4.1.2 新レジストリへのエスクローデータの移行

- (1) JPNICの指示に従い保管された最新状態のエスクローデータのJPNICへの引渡し

## 4.2 業務体制

### (1) 本業務を遂行するにあたってのセキュリティについて

エスクローエージェント業務の実施は、その組織内で必要最小限の者のみが知りうる状態としてください。

### (2) 連絡・報告体制について

本件に関わる責任者1名及び担当者2名をJPNIC及びJPRSに知らせてください。また、これらに変更があった場合は、遅滞なくJPNIC及びJPRSに通知してください。なお、このうち少なくとも1名はカレンダー上の平日午前9時から午後9時は連絡可能な状態にしてください。

## 5. 提案書記載内容

### (1) JPドメイン名レジストリのデータエスクローエージェント業務受託に対する提案

- サービス内容
- セキュリティ内容
- サービス体制
- 費用・契約形態

### (2) 組織概要

- 事業内容(会社案内など)
- 過去3期分の決算書
- これまでの主要な取引実績

以上